

南九州大学・南九州短期大学 ナムディンオフィス開所式 ご挨拶

皆様、こんにちは。南九州学園理事長の長谷川でございます。

本日は、本学園のナムディンオフィス、そして、三者連携連絡事務所の開設に際し、このような立派な式典を開催していただき、心から感謝いたします。

また、本学園がナムディン市にこのような事務所を設置することができましたのは、ナムディン省人民委員会及びナムディン省、宮崎県の多くの関係者の皆様の温かいご支援があったからこそであります。

本学園のこれまでのナムディン省における活動を、様々な形で支えて下さいました、これらの関係者の皆様には、この場をお借りして心からお礼申し上げます。さらに、本日はお忙しい中、各方面から多くの御来賓の皆様のご参列を賜りました。皆様のご厚情に対し、厚くお礼申し上げます。

さて、南九州学園は、宮崎県において南九州大学と南九州短期大学の2つの大学を運営しております。本学園がナムディン省とこのような親密な関係を築くことになりましたのは、2011年にナムディン日本語日本文化学院から2人の留学生が、南九州短期大学へ入学したことに端を発しています。それは、今日この式典に出席されている当学院の設立者の神田先生と当学院長ロイ先生の強い勧めがあり実現しましたが、その2人の留学生は、南九州短期大学を非常に優秀な成績で卒業しました。それによって、本学園でのベトナム人留学生に対する評価が高まり、短大だけでなく大学もナムディン日本語日本文化学院からの留学生受け入れを計画することになりました。検討するに当たっては、ナムディン省と宮崎県の皆さんと何回かにわたって話し合いを行いました。その時、ホアン農業局長（現在の副知事）、ロイ学院長、ギア社長、宮崎県の郡司部長（現在の副知事）等と、ベトナムの経済発展と農業を中心としたナムディン省の発展について熱く語り合ったのを、今、懐かしく思い出しています。そして、この人たちは「本当にベトナムの農業を変えることができるかもしれない」という強い印象を抱いたのを覚えています。

現在、ナムディン日本語日本文化学院出身の7人の留学生が本学に在籍し、農業・食品やビジネス関係の勉強をしています。彼らは皆、熱心にそれぞれの課題に取り組んでいますので、近い将来、ナムディン省ひいてはベトナムの

農業の近代化のために貢献できる人材に育っていくと確信しております。
今後、さらに多くのベトナムの若者たちが、ベトナムの農業の発展のために、
宮崎で経験を積まれることを期待しています。

本学園は、このナムディン事務所をナムディン省と宮崎県の農業振興計画を
進めていくための「皆さまに信頼される活動拠点」として発展させていきたい
と思っております。引き続き、ご支援とご協力をお願いするとともに、皆様
のご健勝をお祈りし、私の挨拶とさせていただきます。

今後とも、どうぞよろしく願いいたします。

平成 30 年 5 月 30 日

南九州学園理事長 長谷川二郎